

石川栄隆 戦前の都市計画事業、戦後の首都建設法などを先導、盛り場研究、市民交流など独特なまちづくり活動。

いしかわひであき

郡司千島探検1893 = 山形県尾花沢で、日本鉄道職員根岸文夫の次男に生まれる。兄栄隆はのちの根岸川柳名人。

日清戦争始・1894 = 1歳：

子規句歌革新1898 = 5歳：父の弟で鉄道技師石川銀次郎と母の妹あさ夫婦の養子となり、養父の勤める大宮に移住。

教科書疑獄・1902 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 12歳：

満鉄発足・・1906 = 13歳：大宮の小学校を卒業し、県立浦和中学に入学するが、

韓国反日暴動1907 = 14歳：鉄道国有化で県知事にも並ぶ盛岡工場長に養父が栄転したのに従って移住し、盛岡中学に転校、

伊藤博文暗殺1909 = 16歳：この年刊行された地理学者小田内通敏「趣味乃地理・欧羅巴(前編)」と出会い、大地に対する愛が芽生え、都市への人生的興味を与えられて、生涯の興味の対象たらしめられる。

大逆事件判決1911 = 18歳：卒業して、仙台の第二高等学校に進む。

明治天皇没・1912 = 19歳：

第一次大戦始1914 = 21歳：建築や庭園よりも道路や橋に魅力を感じ、東京帝国大学工科大学土木工学科に入学。

在学中、下町情緒を愛し、落語に出会って寄席通いしながら、東京の町中を歩き回り、現地実習にも度々出かけて熱心に取組み、

ロシア革命・1917 = 24歳：実習にのめりこんで帰京が遅れ、卒論が間に合わなかったため、

本格政党内閣1918 = 25歳：1年遅れで、卒業。アメリカの貿易会社の建築部に就職したが、

大暴落・・・1920 = 27歳：退職して横河橋梁の技師となるも、*都市計画法施行と同時に、都市計画愛知地方委員会技師に呼ばれ、

原敬首相暗殺1921 = 28歳：

本来は東京の都市計画をしたかったライバル心をもって、かえって自由に腕を振るうことのできた名古屋の都市計画に打ち込み、まず、既に進んでいた名古屋の都市計画区域をまとめて、

水平社結成・1922 = 29歳：中国へ出張し、大連などを視察。結婚。_認可を受ける。

関東大震災・1923 = 30歳：欧米各国の都市の視察研究に出、イギリスの都市計画家アンウィンから水辺空間の重要性を指摘され、

護憲三派圧勝1924 = 31歳：_アムステルダム国際都市計画会議に出席し、提起された大都市圏の7原則に刺激受け、帰国。県庁都市計画課に会を興して{都市創作}を創刊、以後、毎号のように寄稿。本格的な区画整理事業を開始、

治安維持法・1925 = 32歳：_長野県上田市の都市計画説明会で立往生、これを機に、兄と商業都市美研究会つくり商店街研究を始め、

ほかに、豊橋・岡崎・一宮・瀬戸等の都市計画も手がけ、

世界恐慌・・1929 = 36歳：

海軍軍縮条約1930 = 37歳：_{都市創作}を廃刊し、{都市公論}に合流。

満州事変・・1931 = 38歳：地主の心になって説得する独自の方法をマスターし、{都市公論}に「区画整理誘導講話の順序」を執筆、

五一五事件・1932 = 39歳：地方都市を研究した成果「都市動態の研究」を処女出版。

国際連盟脱退1933 = 40歳：_父の反対で満州国都市計画課長赴任をあきらめると、都市計画東京地方委員会へ転任となるが、腕を振るう場は抑えられ、朝鮮・満州へ視察出張、広島都市美協会設立して顧問。

日中戦争始・1937 = 44歳：

健保+総動員1938 = 45歳：陸軍省囑託として、上海の都市計画に従事、

大政翼賛会・1940 = 47歳：この年、_都市計画法改正で都市計画の目的に防空が加えられ、

日米開戦・・1941 = 48歳：防空法改正で強力な土地利用規制が始まるなか、グリーンベルト等実現の機会と研究に打ち込み、「日本国土計画論」「防空日本の構成」「都市計画及び国土計画」と次々刊行して対応、

・・・・・1942 = 49歳：_ついで「国防科学新書 戦争と都市」「国土計画～生活圏の設計」「国土計画の実際化」刊行後、興亜院囑託として、再び上海の都市計画に従事、

創価学会検挙1943 = 50歳：_さらに「都市の生態」「国土計画と土木技術」を刊行するうち、東京都の成立に伴い技監となり、

年金+総武装1944 = 51歳：_「皇国都市の建設～大都市疎散問題」「国防と都市計画」を刊行、道路課長から、都市計画課長兼任を経て、

敗戦・・・1945 = 52歳：都市計画課長専任となったところで敗戦を迎えると、生活圏をベースとした戦災復興計画を立案し、

新憲法公布・1946 = 53歳：「都市復興の原理と実際」。_新宿復興に繁華街計画を持ちこまれると、自ら歌舞伎町と命名してその誕生に尽力。都区部周辺に衛星都市を置く「新首都建設の構想」を発表するが、

農地解放が都市計画に大きな障害になるとGHQと交渉したり、露店整理等の問題に忙殺され、

新憲法施行・1947 = 54歳：

極東裁判判決・1948 = 55歳：子ども向け「私たちの都市計画の話」。_建設局長、

三大事件・・1949 = 56歳：_「東京復興都市計画設計及解説」で工学博士。「都市計画と国土計画」を刊行。ドッジラインの緊縮政策で、復興計画は大幅に縮小され、

朝鮮戦争始・1950 = 57歳：_成立に尽力してきた首都建設法が公布されたのを機に、

独立回復・・1951 = 58歳：_退職し、早稲田大学教授。{日本都市計画学会}の創設者の一人として副会長。東京都の参与にもなる。

メテ-事件・1952 = 59歳：_復興区画整理第一地区の麻布十番の計画がまとまり、のちの賑わいに結びつく。

この間、アメリカ占領下の沖縄を2度訪問し、那覇の都市計画も指導、一貫して市民の交流・交歓の場を重視し、盛場と広場づくりを指導するなど独特なまちづくり活動をし、

55年体制始・1955 = 62歳：_講演に出張中に体調を崩し、帰京後まもなく、没した。